



ニセアカシアの花が終わりスイカズラが終わりに近づき、早々とテイカカズラが咲き始めまています。カワウの幼鳥が飛び立って一段落したのか、あれほど賑やかだったが営巣地の島にも静寂が訪れています。池の南や東の樹林はシイが花を咲かせ独特の匂いを漂わせていました。季節は夏に向かって進んでいます。

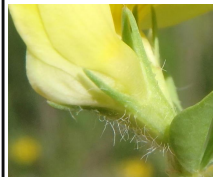


キムネクマバチ

緑色が深まる常緑樹の固まりにクリーム色のシイの花が鮮やかに見えます。花粉を求めて花蜂や虻が飛んできます。



ミヤコグサ
従来セイヨウミヤコ



グサとしていましたが、顎の筒の長さ々と裂片の長さを見比べた結果、裂片の方が長めだったことからミヤコグサと訂正します。



アオヒゲナガトビケラ

縞模様の長い触覚があるので「ヒゲナガ」との名がついたようです。ヒゲ状の黒く見えるものは少額肢という口器の一部で、左のように曲げていることが多いです。



ツユムシ幼虫

草むらを虫網で掃くようになるとバッタの仲間が捕まります。ツユムシの他にキリギリスの幼虫(右)がいました。



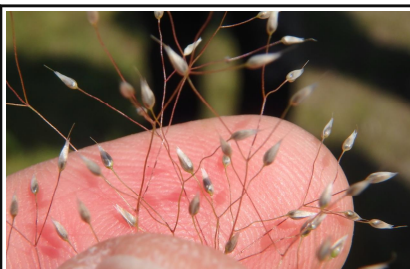
ナカノホソトリバ

これも草むらで捕まった小さな蛾の仲間です。T字形に羽を伸ばして止まるトリバガの仲間です。幼虫が背が伸びてきたメドハギなどのマメ科植物を食べます。



コナスビ

草の間に目をやると、地面にへばりつくように可憐な花が咲していました。茎が地面を這うように伸び広がります。対生する葉には柔らかな毛が生えています。



ハナヌカススキ(芒が1本)

背が低く長い柄の先に小さな実がつくイネ科の植物。群生しているところで目線を低くするとモヤモヤと白っぽいものが浮かんでいるように見えます。芒が2本のものはヌカススキです。



ニジゴミムシダマシ

光の加減で赤や青が見えます。枯木の表面にウバタマコメツキがいました。手のひらにのせると音を立てて跳ね返りました。柔らかい材を少し剥がしたらできました。



ゴイサギの幼鳥

池の東側、桜並木の池畔に飾り羽根をはやしたダイサギなどが止まっています。よく見ると羽に白点のあるゴイサギの幼鳥がいました。



コハナバチの仲間

愛知池の周りの地面は痩せた赤土です。そんな草もあまり生えない場所を好んで巣穴を作り地下に育房を構えます。花から蜜や花粉を集めて団子を作り卵を産みつけます。



ジョロウグモの幼体

昨年、秋の終わり頃、木の枝や幹に産み付けられた卵のうから産まれてまもない一齢のようです。10cmに満たない小さな巣に住んでいます。



クルミマルハバチの幼虫

池端のオニグルミの花が終わり実がついていました。葉を裏返したら白い毛糸のようなものをまとった幼虫がいました。丸い眼が印象的な幼虫で葉を食べる蜂の仲間です。

植物 ニガナ、オオジシバリ、ハルジオン、ホソバヒメジョオン、ミヤコグサ、ブタナ、ハハコグサ、チチコグサニホンタンポポ、ニワゼキショウ類、コナスビ、アヤメ、ヒメゴウソウ、タチスゲ、イヌムギ、チガヤほける、ハナヌカススキ、ヒメコバンソウ、シイ、ヤマハゼ、スイカズラ、テイカカズラ、マメガキ、イボタ咲き始める、イロハモミジ赤い実、ヤマモモ実ふくらむ、トチノキ実ふくらむ、**昆虫** キタキチョウ、モンキチョウ、モンシロチョウ、ヒメウラナミジャノメ、ベニシジミ、ナミアゲハ、黒いアゲハチョウ、コムスジ、アカボシゴマダラ春型、キアヤヒメノメイガ、ナカノホソトリバ、キリギリス幼虫、ツユムシ幼虫、カマキリ幼虫、キムネクマバチ、コハナバチ類、クヌギカメムシ類、シロオビアワフキ巢、サメハダツブノミハムシ、コフキゾウムシ、ウバタマコメツキ、ニジゴミムシダマシ、ナミテントウ一齢幼虫、クルミハバチ幼虫、クロヤマアリ、アミメアリ、トビイロシワアリ、ウメマツオオアリ、アミメアリ、シベリアカタアリ、アシプトハナアブ、ユスリカ類、ケバエ類、アオヒゲナガトビケラ、アリ地獄、**蜘蛛** ウロコアシナガグモ、アシナガグモ、チュウガタシロカネグモ、ジョロウグモ幼体、ゴミグモと巣、**鳥、その他** ウグイス声、ツバメ、カラス、コジュケイ声、カワウ、カルガモ、ダイサギ、ゴイサギと幼鳥、鳥と思われる大きな叫び声、カナヘビ、
次回6月8日(木) 午前9時30分 水資源機構・P前 雨天中止 参加費100円